

冬場も行ってます！ 薬草教室

〈製薬衛生担当〉

徳島県立保健製薬環境センターでは、薬用植物に関する正しい知識を普及するため、定期的に当センターが管理する薬用植物園で薬草教室を開催しております。2月の薬草教室では「生薬と民間薬について」に関するテーマで説明し、民間薬と漢方薬の違い等についてお話ししました。ブレイクタイムとして自家製のドクダミ茶をふるまった後、園内で栽培している約200種類以上の中から10種類の薬用植物を選び、その説明を行いました。参加者の皆様からたくさんの質問もあり、薬草に対する熱意を感じました。

このように、健康維持に役立つ薬用植物への関心は高まっています。今後も分かりやすく楽しみながら薬用植物について学んでいただけるよう、内容を工夫しながら薬用植物に関する正しい知識の普及に努めて参りたいと思います。

○薬草教室のご案内は、徳島県立保健製薬環境センターのホームページから、ご覧になれます。

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011070100154/>

【薬草教室開催風景】



【園内見学時にご覧いただいた薬用植物】



【植物名】ボケ

【薬用部位】果実（生薬名：木瓜（モッカ））

【調製方法】初秋に果実が黄色に完熟したところに採取し、2つか4つに輪切りにして数日間日干しにする。

【適用】暑気あたり、胃けいれん、嘔吐等を伴うけいれん、咳